

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	鶴見区
学 校 名	大阪市立茨田南小学校
学校長名	宇野 多加志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・茨田南小学校では、第6学年 **67** 名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

令和6年度の全国学力・学習状況調査の本校の平均正答率は、国語科においては全国平均を4.7ポイント、大阪市平均を3ポイント下回った。昨年度結果より1ポイント大阪市結果と差が開いたが、内容別に見ると「情報の扱い方」「書くこと」の2領域で大阪市結果を上回ることができた。「書くこと」の領域は、昨年度は大阪市、全国を大きく下回っていたもので、課題は解消されつつある。算数科においては、平均正答率において、全国平均を4.4ポイント、大阪市平均を3ポイント下回った。昨年度結果とほぼ同じ結果となったが、内容別にみると、各領域で大阪市を下回った昨年度に比べ、今年度は「図形」の領域で、大阪市平均を上回ることができた。平均無回答率は昨年度に続き全国平均を下回ることができたが、国語科において、大阪市平均を上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「主体的・対話的で深い学びの追求」を研究主題に設定し、各学年継続して授業研究に取り組んでいる。昨年度結果より課題にあげた「書くこと」の領域では成果をあげた。ICT機器の活用も継続できており、「情報の扱い方」の領域においても本年度は好結果であった。今後も継続して授業改善に取り組んでいく。

【算数】

昨年度の結果を踏まえ、今年度の研究重点教科を「算数」に絞り、各学年研究授業・公開授業を行って授業改善に取り組んでいる。昨年度はすべての領域で大阪市平均を下回ったが、今年度は「図形」の領域で大阪市平均を上回り、「データの活用」領域では、1ポイント差まで縮めることができた。スクールアドバイザーの先生の指導を受けながら、継続して「わかる授業」を追求していく。

質問調査より

「国語の勉強は好きだ」の質問に最も肯定的な回答をした児童の割合は20.0%で、昨年度の値(28.4%)を下回った。「算数の勉強は好きだ」の質問への最も肯定的な回答率は32.3%で、昨年度調査の29.6%を上回った。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の問いに対する肯定的な回答は今年度は93.8%で昨年度の95.1%を下回り、一昨年度と同値となった。来年度への課題として今後取り組んでいきたい。

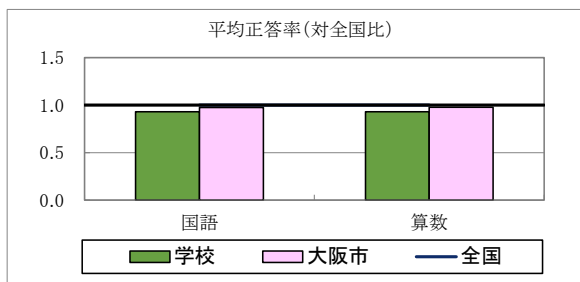
今後の取組(アクションプラン)

今年度においては基礎学力の定着を目指し、朝学習やモジュールタイムでの漢字や計算の反復練習をさらに計画的に継続・実施していく。ICT機器の授業への活用も定着してきており、算数科における研究授業・公開授業・研究討議会を活かして学校全体の授業改善に継続して取り組んでいく。大阪市学力経年調査(12月)の結果を分析し、振り返りプリント等で高学年の学力向上をめざす。

【 全体の概要 】

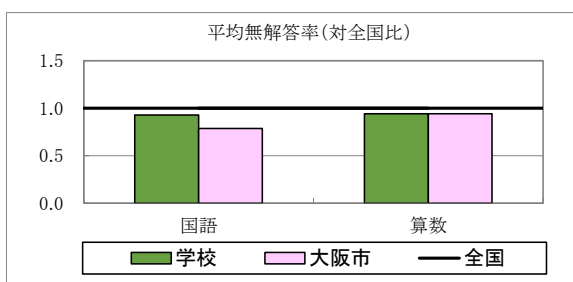
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	63	59
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.9	3.2
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



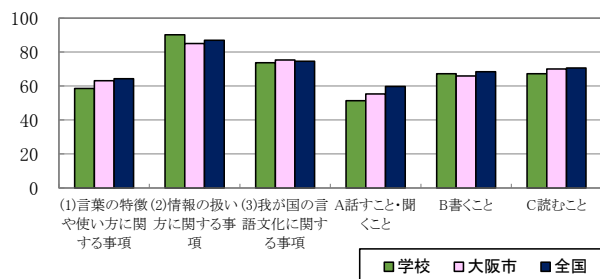
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	58.6	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	90.2	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	73.8	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	51.4	55.3	59.8
B 書くこと	2	67.2	65.9	68.4
C 読むこと	3	67.2	70.1	70.7

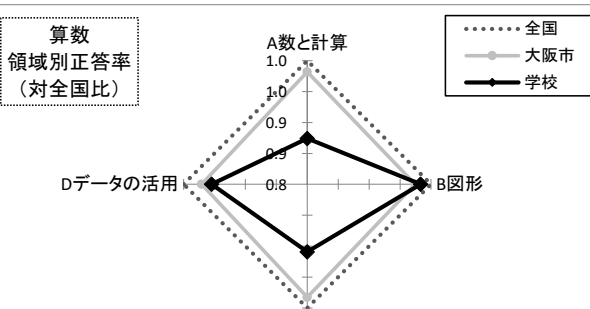
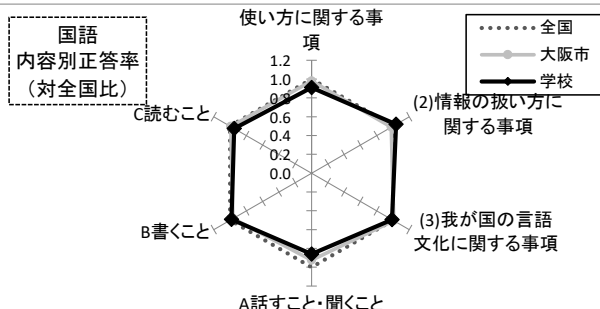
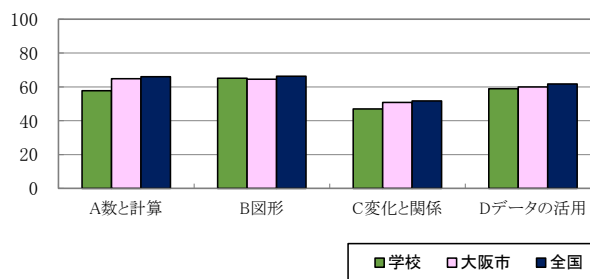
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	57.7	64.8	66.0
B 図形	4	65.2	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	47.0	50.8	51.7
D データの活用	4	59.0	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



児童質問より

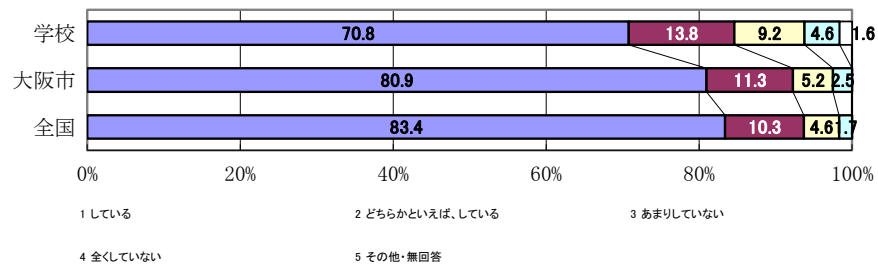
質問番号

質問事項

1

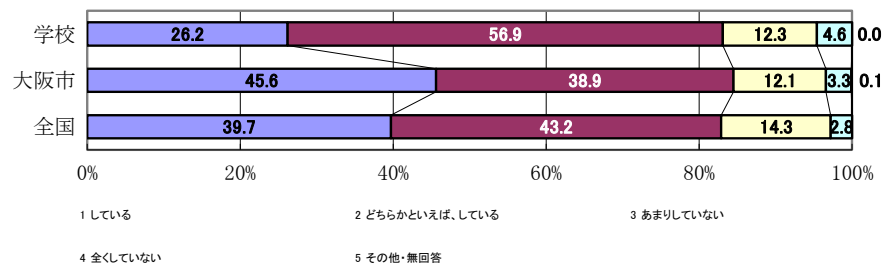
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



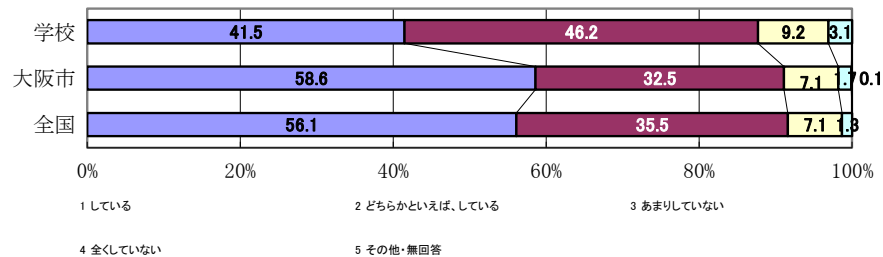
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



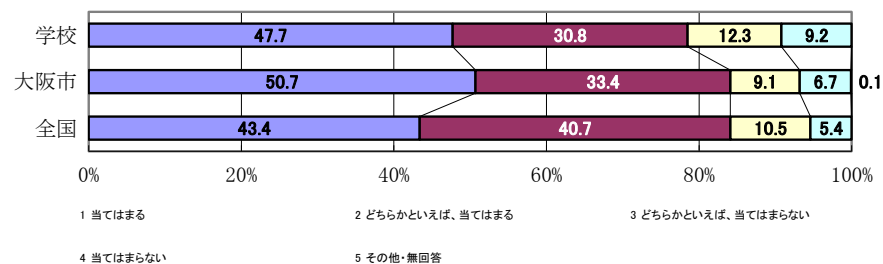
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



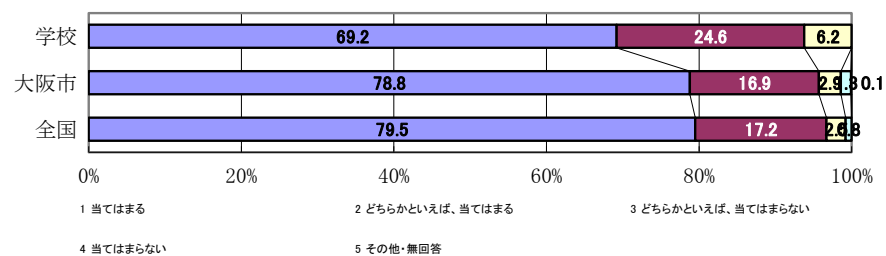
9

自分には、よいところがあると思いますか



13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



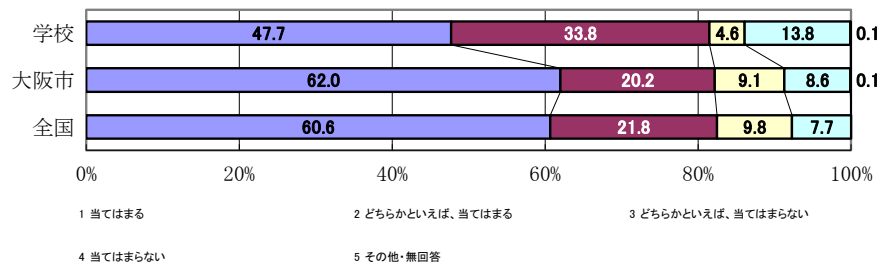
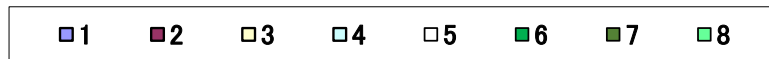
児童質問より

質問番号

質問事項

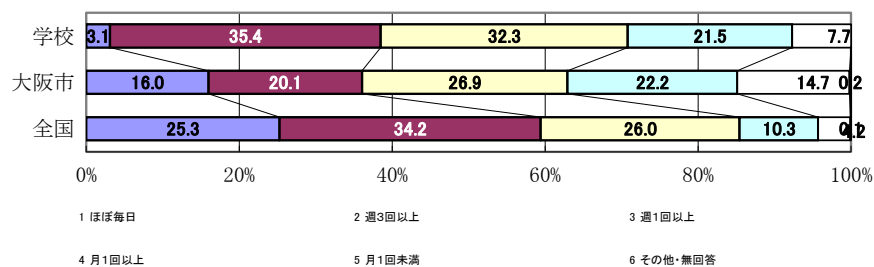
11

将来の夢や目標を持っていますか



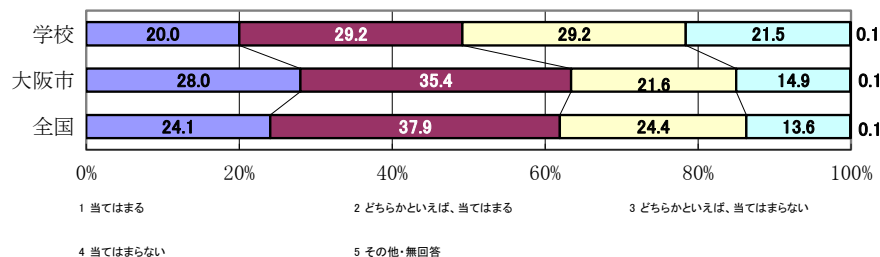
27

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



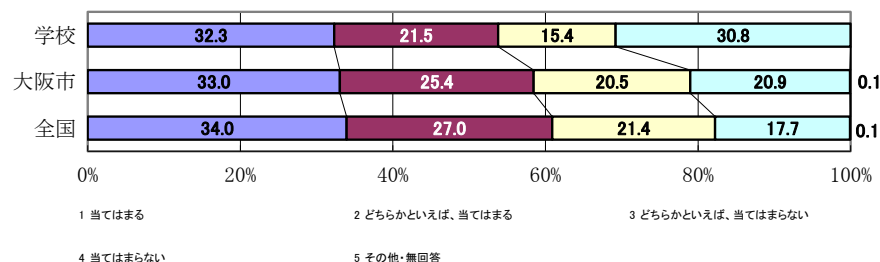
42

国語の勉強は好きですか



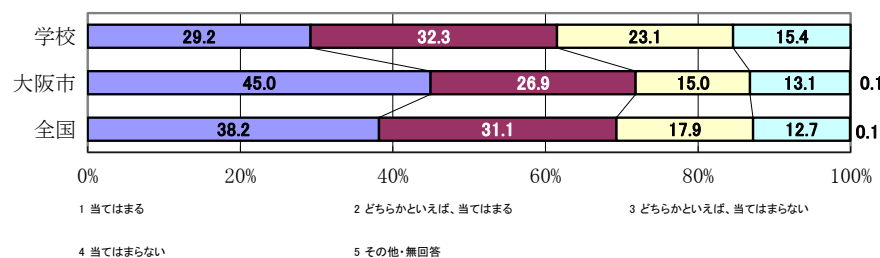
50

算数の勉強は好きですか



61

英語の勉強は好きですか



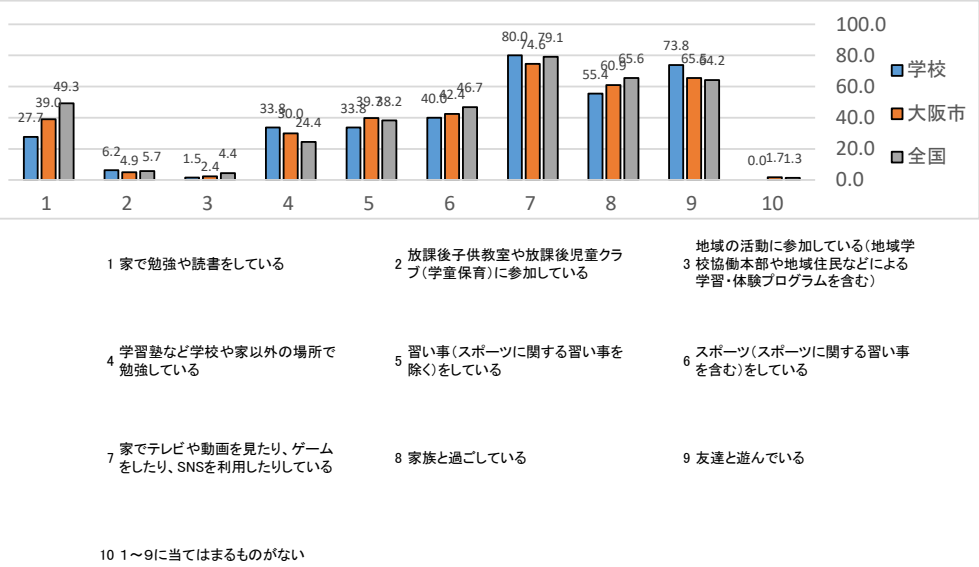
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして
過ごすことが多いですか
(複数選択)



学校質問より

質問番号

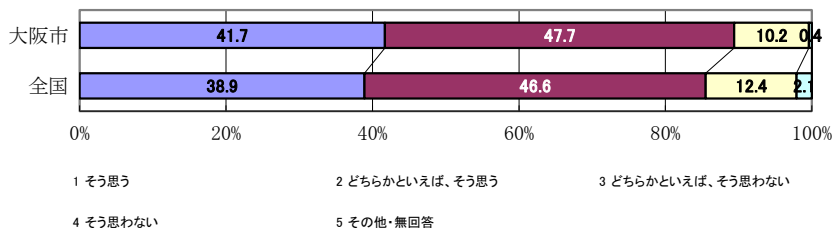
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



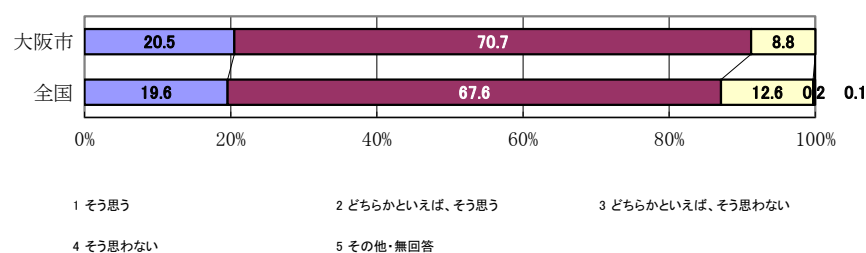
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか

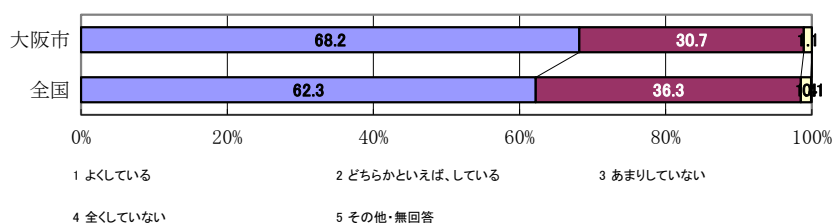
学校 「そう思う」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

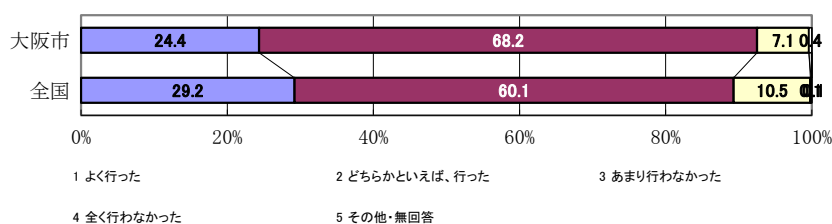
学校 「よくしている」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「よく行った」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

